

浜松市障がい者自立支援協議会中エリア連絡会

全体会議録

- 1 開催日時 令和4年9月28日 午前10時から正午
- 2 開催場所 和合せいれいの里 研修センター 2階 研修室1
- 3 出席状況
- | | |
|-----|--|
| 委員 | 浜松市リハビリテーション病院 (Zoom 参加)
ウィズ蜷塚
在宅支援センターぱびるす
ワークセンターふたば
地域包括支援センター和合
浜松市障害者相談員
浜松市中区民生・児童委員協議会
浜松市社会福祉協議会浜松地区センター
相談支援事業所くすのき |
| 事務局 | 浜松市中障がい者相談支援センター
浜松市中区社会福祉課 |
| その他 | 浜松市障がい者基幹相談支援センター
ソーシャルインクルーホーム浜松神田町
ラシエル高丘 |
- 4 傍聴者 あり (Zoom 参加) 18事業所23名
- 5 議事内容
- 1 浜松市障がい者自立支援協議会について
 - 2 浜松市障がい者自立支援協議会中エリア連絡会について
 - 3 日中サービス支援型共同生活援助の評価・助言について
 - 4 意見交換
- 6 会議録作成者 浜松市中区社会福祉課障害福祉第二グループ 星野
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 有・
- 8 会議記録

1 開 会 司 会 中障がい者相談支援センター

2 あいさつ 中区社会福祉課長

3 議 題

(1) 浜松市障がい者自立支援協議会について

資料 2 ページから 1 8 ページに基づき報告

(2) 浜松市障がい者自立支援協議会中エリア連絡会について

資料 1 9 ページから 2 4 ページに基づき報告。

(質疑応答)

- ・地域課題検討部会の日中の過ごし方について (P 2 0)、アンケートをとる対象事業所に児童発達支援事業所が入っていない。児童発達支援事業所は時間外対応をしていることもあるため、対象事業に入れてほしい。

→今回このアンケートを取ろうとしたのは相談支援事業所へのヒアリングの中で放課後デイサービス利用児の夜間帯の見守りが不足しているという課題があがったことがきっかけ。また、放課後デイサービス等を利用してきた方が大人のサービスを使い始めると急に夕方以降の受け止め先がなくなってしまうという声があったため。今後、必要に応じて児童発達支援事業所の利用者も含めて展開していくことも検討したい。

- ・啓発部会の出前講座について、内容等を教えてほしい。また、申込方法等も教えてほしい。

→1 5～30 分程度で 8 テーマに分けて講座を開いている。(テーマ内容は割愛)

申込フォームは無いがチラシはある。まずは電話にて連絡をいただきたい。

- ・医療機関でも虐待の発見等の場面があるため、こども部会のアセスメントシートを周知していければと思う。→データもしくは紙で提供する。

(3) 日中サービス支援型共同生活援助の評価・助言について

- ・ 資料 2 5 ページから 3 9 ページに基づき説明

(4) 意見交換

ア. ソーシャルインクルーホーム浜松神田町より、別紙資料に基づき説明。

イ. ラシエル高丘より、資料 4 0 ページから 4 7 ページに基づき説明。

(質疑応答)

- ・ソーシャルインクルーホーム浜松神田町は薬剤師による服薬管理をしているということだが、薬剤師が施設内で勤務しているということか。

→施設付けで勤務している薬剤師ではなく、利用者が直接薬局と契約して薬局の薬剤師が施設訪問してくれている。

- ・先日も台風被害があったが、災害時の対応・リスクマネジメントについてどのようにしているか教えてほしい。

→(ソーシャルインクルーホーム浜松神田町)避難訓練を年 2 回行っている。

行政には避難経路の提出もしているが、BCPの作成はしていない。また、地域の防災活動の参加を年 1 回行っている。施設では水や食料品等 3 日分の備蓄をしているが、市内 5 か所ある姉妹施設を持っているという強みを生かし、施設間で食料等を受け渡したりしている。

→(ラシエル高丘)施設内で避難訓練を実施している。今後は地域の防災活動にも参加していきたいと思う。

- ・地域とのつながりについて、地域の防災訓練や夏祭り、清掃活動等日頃から参加できるといいと思われる。避難訓練についても、近隣の学校と一緒にすることで入所者の特徴を知ってもらえて緊急時に役立つ可能性もある。

- ・親亡き後の子が生活する場がグループホームになるということを考えると、限りなく家庭に近い雰囲気にしてほしい。利用者が安心して生活できるように、困ったことを相談できる職員がいたり、困っていることに気付ける職員がいるとうれしい。そのため、できる限り長く勤めてくれるような人員配置、職場環境、職員

の資質向上に努めてほしい。

- ・職員の資質向上のために出前講座の活用も検討できるのではないかな。

→（ソーシャルインクルーホーム浜松神田町）

新たにコンプライアンス課を本部が立ち上げた。上司のハラスメントや不満があれば外部機関に繋がるようになってきている。必要時その外部機関から改善を求めて各施設に連絡が入るようになってきている。また、利用者については、外部の日中活動系のサービスを利用しているため、外部に出た際に施設には直接言えない不満等を外部職員に伝えることもあり、そこから施設に連絡が入ることもある。

職員については比較的長く勤めている者が多いと思う。

→（ラシエル高丘）家と同じ環境にしていきたいという思いはあるため、家具の持ち込みをOKにしている。また、入所者の生活歴を理解してもらうように職員と情報共有している。入所者の対応についても、緊急度によって優先順位をつけて対応している。障害福祉に不慣れな職員が多いため、職員も対応で感情的になっているときは一息ついて、職員間で話し合っけて対応している。

- ・身元引受人がない場合のグループホーム受け入れ、視覚障害者の受け入れについて確認したい。

→（ソーシャルインクルーホーム浜松神田町）身元引受人がない方が絶対に入所できないというわけではない。ただ、金銭管理も全て施設で責任を負えるわけではない。また緊急搬送時の医療同意も施設では対応できないため後見人等がついていることが好ましい。

視覚障害者の受け入れはしていないわけではない。すでに他の姉妹施設では視覚障害の方や聴覚障害の方も受け入れている実績がある。

→（ラシエル高丘）緊急時の医療同意は施設ではできない。現在、身元引受人のいない人の受け入れはしていないというのが現状。

ラシエル系列では全盲の人を受け入れている施設もある。

- ・グループホームで視覚障害の受け入れをしてきてありがたいと思う一方、wifiの設置を検討してもらいたい。入所者が施設内でスマート機器を使うことができれば生活の幅が広がる。また、視覚障害者向け訓練士派遣事業（視覚障害者訪問自立支援事業）の部屋の利活用も可能である。
- ・本日の会議では、命を守るという視点について多くの議論があったと思う。感染、安全、防災について、報告書を見ても施設側がどう対応しているか分からない。報告書のフォーマットの改善も必要ではないかな。
- ・ソーシャルインクルーホームでは受け入れ年齢の制限を引き下げてくれていると聞いてありがたく思う。子供がいる世帯でもグループホームの利用という視点が持てるようになる。

ただ、強度行動障害がある人の受け入れ先が無かったり、80-50問題を抱える家庭に入れる施設が少なかったり、ショートステイの利用も数か月前でないと利用できないパターンもある。

→（ソーシャルインクルーホーム浜松神田町）強度行動障害のある方の入所対応をしていきたいとは思いますが、施設の構造上強度行動障害の方に対応した造りになっていない。また、他入所者の安全確保のバランスもあるため難しいのが現状。

→（ラシエル高丘）ラシエル系列の他施設では受け入れているケースもあるため、現状としては強度行動障害の受け入れはしていないが、勉強していきたいと思う。また、様々な障害者が共同生活し、それぞれの入所者が快適に過ごせるようにしていく必要もあると考えている。